

Cisco IOS Misformed BGP パケット原因リロード

severity アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20050126-bgp](#)
初公開日 : 2005-01-26 16:00 [2005-0196](#)
バージョン 1.5 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

IOS ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) を実行する Cisco デバイスは不正 な BGP パケットからのサービス拒絶 (DoS) 攻撃に脆弱です。設定されるコマンド `bgp log-neighbor-changes` またはコマンド `snmp-server enable traps bgp` のデバイスだけ脆弱です。BGP プロトコルはデフォルトで有効にならないし、明示的に定義されたピアからのトラフィックを受け入れるために設定する必要があります。悪意のあるトラフィックが設定されるから送信されるようではない信頼されたピア、不正 な パケットをインジェクトすることは困難です。

Cisco はこの問題を提起するためにフリーソフトを使用できるようにしました。

この問題は CERT/CC VU#689326 によってトラッキングされます。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20050126-bgp> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

この脆弱性は BGP プロトコルのためにサポートの始めから Cisco IOS のあらゆる取りはずされたバージョンに、バージョン 9.x を含んで、10.x、11.x および 12.x あります。この問題は BGP ルーティングのために設定され、`bgp log-neighbor-changes` コマンドが `snmp-server enable traps bgp` で設定されるすべての Cisco デバイスに影響を与えます。`bgp log-neighbor-changes` コマンドは 12.0(22)S に、12.0(11)ST、12.1(10)E、12.1(10) およびそれ以降 ソフトウェア デフォルトでオンになっています。

Cisco IOS XR はまた影響を受けます。

BGPプロセスを実行しているルータは設定の次の行を備えています:

```
router bgp <AS number>
```

影響を与えられるべきデバイスのために次の設定コマンドの1つが両方は有効になる:

```
bgp log-neighbor-changes
```

または

```
snmp-server enable traps bgp
```

Cisco 製品で稼働しているソフトウェアを確認するには、デバイスにログインし、**show version** コマンドを発行してシステム バナーを表示します。Cisco IOSソフトウェアは「インターネットワーク オペレーティング システム ソフトウェア」として識別しますそれ自身をまたは単に「IOS ®」。出力次の行で、イメージ名は「バージョンに」先行しているかこと IOSリリース名の間で表示する。その他の Cisco デバイスには **show version** コマンドがないか、異なる出力が返されます。

次の例は C2500-IS-L のインストール済みイメージ名前と IOS リリース 12.0(3) を実行する Cisco製品を指定したものです:

```
snmp-server enable traps bgp
```

リリーストレイン ラベルは "12.0." です

次の例は C2600-JS-MZ のイメージ名と IOS リリース 12.0(2a)T1 を実行する製品を示します:

```
snmp-server enable traps bgp
```

Cisco IOS リリース指名についてのその他の情報はで見つけることができます:

<http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html>。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

脆弱ではないために確認される製品は Cisco IOS を、Cisco ガードのような、BGP のために設定することができない製品か BGP に加わることができない製品実行しないデバイスが含まれています。他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

Revision 1.5	2005- March- 21	利用可能な IOS software 12.2T を修理 しましたソフトウェア バージョン およ び 修正 セクションの IOS リリース 表
-----------------	-----------------------	---

		のリリース情報をアップデートしました。
リビジョン 1.4	2005- February -09	詳細 セクションへの修正および付加。
リビジョン 1.3	2005- February -04	ソフトウェア バージョン および 修正表、要約、該当製品および詳細セクションへの修正。
リビジョン 1.2	2005- February -01	12.2S に追加される追加改造
リビジョン 1.1	2005- January- 29	影響を受ける追加された IOS XR。マイナーな構文変更。変更された 12.2ZA マイグレーションパス。
リビジョン 1.0	2005- January- 26	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。